

会報

さわやか

戸沢村 蔵岡地区「紙風船まつり」

冬の風物詩 春を待ちわびて夜空に舞う

第57号

平成29年1月



会員募集中

入会説明会は毎月第3木曜日午前10時～

※人数がまとまれば、随時開催いたします。(出前・夜間・女性限定)

まずは、お問い合わせください。TEL:22-3065

公益社団法人 新庄・最上地域シルバー人材センター

山形県新庄市大手町2番60号 ☎22-3065 FAX: 22-3395

URL: <http://smsilver.jp>



理事長 草刈 國夫

皆様には、ご健勝にて新しい年をお迎えのこととお慶び申し上げます。

お陰様でセンターの運営は順調に推移しており、これも一重に会員各位並びに国・県・管内の市町村、各ご家庭、企業の皆様のお陰と衷心よりお礼を申し上げます。

しかしながら、センターを取り巻く環境は、少しずつではあります。それが毎年複雑に変化しております。それらの変化を的確に捉え、柔軟に対応しながら、役員一同事業の拡大に取り組んでいるところであります。

今年の干支は「酉」です。方角は「西」、「酉」は「鶏」で時を報

せる動物、酉の刻は夕方の五〜七時、とりは「とりこむ」の意から、「運氣・金運」を「取り（酉）込む」と言われ、商売などには大変縁起の良い干支と言われているとされます。

当センターも商売繁盛「酉年」に是非あやかりたいものです。さらに、酉年の人の特徴として、親切で面倒見が良く、社交性・行動性抜群だそうです。

ちなみに、今年酉年に当たる六十歳、七十二歳、八十四歳の会員の皆さんには特に期待をしながら、そして全会員皆様方の益々のご健勝とご活躍を申し上げる次第であります。

尚、今年度のキャッチフレーズは、「あなたの街のシルバーパワ―・安全・安心・真心こめて」です。地域の皆さんにもっともっと愛され、信頼されるシルバー人材センターを目指してまいります。

事業報告（上半期）

28年4月〜28年9月

●経営状況

会員の皆様の積極的な参画・協力により、契約金額で対前年比六百五十四万円の増額となりました。

●事業実績

契約件数・契約金額・就業延人員とも順調に増加しています。これからも地域社会から信頼される、シルバーを目指してまいります。

●会員募集

昨年同期と比べ、ほぼ同数となっておりますが、会員の高齢化が進んでおります。事業実績が伸びている中で、会員拡大は喫緊の課題となっております。

理事会報告 《開催日と主な承認事項》

- 第六回理事会 八月三十一日
- 第七回理事会 九月三十日
- 第八回理事会 十月二十八日
- 第九回理事会 十一月三十日

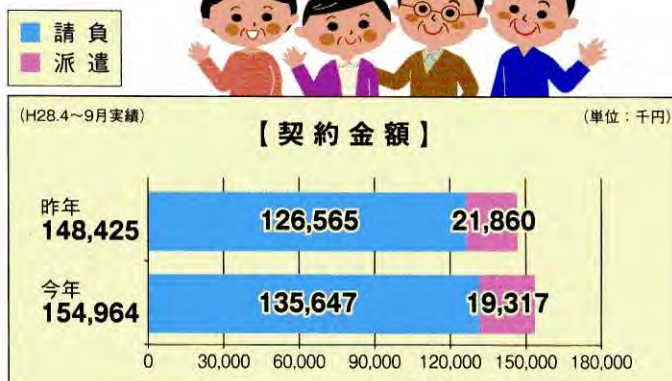
●新入会員について

八月から十一月分まで二十一名の会員が承認されました。

●予算執行状況について

上半期の予算執行状況は、經常収益一億五千万円、經常費用一億四千六百万円となりました。

その他「就業単価」や「適正就業基準」など、多くの課題について協議いたしました。



特別寄稿



一人ひとりの尊厳と自立が得られ、 活気に満ちた安心と喜びのひろがる最上

最上総合支庁長 石山 健一

新年あけましておめでとうござ
います。皆様には、素晴らしい新
年をお迎えのこととお慶び申し上
げます。

さて、昨年、最上管内では様々
なことがありました。四月には農
林大学校に林業経営学科が新設さ
れました。また、新庄中核工業団
地では今年三月の本格稼働を目指
して県内初の大型集成材工場の整
備が進められており、「やまがた
森林（モリ）ノミクス」の取組み

が着実に実践されております。一
方、八月には台風により道路や河
川、農作物などが被害を受け、現
在も復旧作業が続いています。十
二月一日には、「新庄まつり」の
ユネスコ無形文化遺産の登録決定
という吉報があり、益々の盛り上
がりが期待されるところです。

さて、全国的に少子高齢化、人
口減少が加速しております。この
最上地域でも、高齢人口の割合は
上昇する一方で、十五歳から六十

五歳の生産年齢人口は減少の一途
をたどっています。このような中
高齢者の方々に、豊かな経験と能
力を活かし社会に貢献いただける
ことは大変ありがたいことです。

最上総合支庁では、今後とも関
係者の皆様と連携しながら、全て
の高齢者の方が生涯にわたり、健
康で自立と尊厳を持って暮らすこ
とのできる地域社会の構築に努め
てまいりますので、引き続き、御
支援と御協力をお願いいたします。

市町村への 要望活動

シルバー人材センターは、新
庄・最上地域八市町村からの運
営補助金（助成金）を、事業運
営費の一部に充てています。

十一月二十四日より各市町村
役場に出向き、市町村長へ来年
度も引き続き補助金の助成と積
極的な公共事業の発注・会員募
集活動へのご協力を要請いたし
ました。

年末のお忙しい中、大変あり
がとうございました。

(公社)新庄・最上地域 シルバー人材センター作業別 安全・適正就業基準

<基本編>

- 1.常に健康の維持管理に努めること。
- 2.安全第一に考え、安全就業に心掛けること。
- 3.安全保護帽（ヘルメット）を必ず着用すること。
- 4.服装・履物は、作業に合ったものを着用すること。
 - (1)作業服は、袖口のしまったものを着用すること。
 - (2)作業靴は、履きなれたもので、滑りにくいものを使用すること。
(地下足袋・運動靴・長靴等)
- 5.軽い柔軟体操をして、身体をほぐしてから作業に従事すること。
- 6.作業現場に着いたら、周囲の状況を確認すること。
- 7.作業現場は、常に整理整頓を心掛けること。
- 8.重量物の運搬は、慎重に行うこと。
- 9.道具類の使用は、正しい使用法によること。
- 10.作業は、基本的に複数人によることとし、共同作業では、合図・連絡を正確に行うこと。
- 11.仕事場への行き帰りは、交通事故に気をつけること。
- 12.作業後は発注者に必ず確認してもらうこと。
- 13.スズメ蜂の巣や害虫等に注意を払い、殺虫剤及び蜂毒吸引器を常備しておくこと。



▲ 12/8 高橋重美最上町長へ要望書を提出

活性化推進検討委員会

委員長 元木 利春



▲11/7 障子張り講習会
シルバー人材センター作業室にて

山形県高齢者就労活性化事業では、地域ニーズのある分野において、会員のスキルアップを図り、新たな就業に繋げることを目的に、次のような講習会を開催しました。

6月28日 網戸張り講習会

ところ 山形チャレンジ工業(株)
講師 柴崎 栄造氏
参加者 14名

6月29日 植木剪定講習会

ところ 日新小学校
講師 環境緑化事業協同組合
参加者 13名

11月7日・22日 障子張り講習会

ところ シルバー人材センター
講師 (会員) 堀江 欣治氏
他 2名

11月18日 雪囲い講習会

ところ 新庄市民文化会館前
講師 須藤造園 須藤 昭氏
参加者 8名

12月13・14日 襖張り講習会

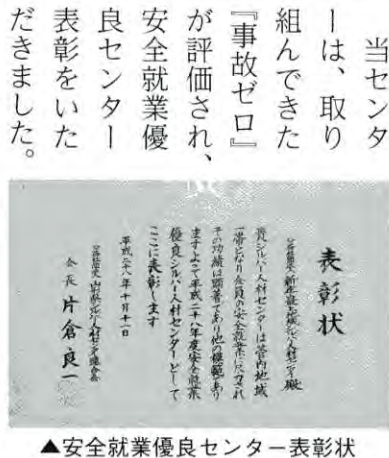
ところ シルバー人材センター
講師 (会員) 高橋 泰和氏
他 2名
参加者 6名

安全就業への取り組み

安全就業推進大会

十月十一日、山形市遊学館において、安全就業推進大会が開催されました。

これは、県連合会が主催し、県内シルバー人材センターが安全就業への意識を再確認するため、毎年開催しているものです。



▲安全就業優良センター表彰状



▲受賞した原田美恵子さん (写真右から二番目)

さらに、安全標語では、末広班の原田美恵子さんが佳作入選し表彰されました。

佳作入選作品

原田さん、おめでとうございます。

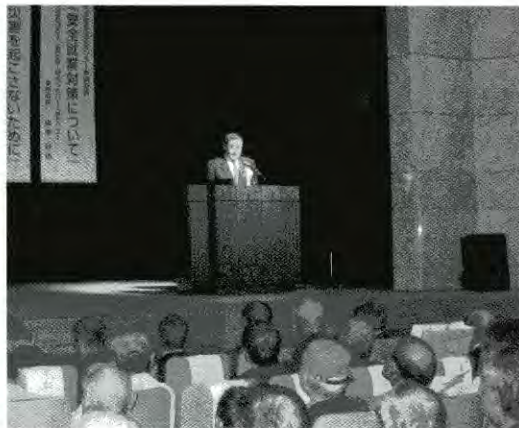
「安全は

仲間の注意と

思いやり

末広班 原田美恵子

また、当センターを代表して、福澤事務局長より「安全就業対策」と題して安全就業への取り組みについて事例発表が行われました。参加者からは、「安全パトロールの実施状況が具体的に参考になりました。」などの意見をいただき大変有意義な安全大会でした。



▲事例発表する福澤事務局長

雪関係リーダー会議 & 安全祈願祭

安全祈願祭



▲安全帯の効果を経験する 笹一正さん

本格的な冬の到来を前に、十月二十七日日センターにおいて雪関係リーダー会議が行われました。会議に先立って安全祈願祭が行われ、一同、安全就業への思いを新たにしました。

また、ミドリ安全(株)より最新の安全装備が実演を交えて紹介されました。

今期も事故なく春を迎えられるよう、安全就業管理委員会としてもパトロールを計画しています。

安全な就業には、皆さんの心がけが、なにより安全帯です。



▲11/16 安全就業パトロール

「事故ゼロ」目指して頑張りましょう!!

安全はすべてにおいて最優先

10月12日

シルバーフェスティバル

「ゆめりあ」にて開催

シルバーフェスティバルを終えて

実行委員長・副理事長 佐藤 紀美恵

私がシルバーの会員となって初めてのフェスティバルに参加した時、先輩会員の方で地域住民にもすっかり定着していて、バザー、餅の量、展示物、野菜や加工品の販売等々を見て、これまでに重ねた経験に裏打ちされた「シルバーパワー」を感じました。

今回の「第24回シルバーフェスティバル」は、本来の目的に立ち返って、時代に合わせたものにしてはと言う事で、これまでとは場所もやり方も変え、試行錯誤を重ねながら始まりましたが、実行委員会を開催す

る毎に輪郭も見えてきました。みんなで一つの目標に向かって取り組む姿勢こそが、私達シルバーにとって、とても大切な事だと思います。

さて、新生フェスティバルの結果は、アンケート調査の集計結果からも概ね成功ということであ堵しました。反省会では、各班からの反省点もしっかり挙げてもらったので、次回はこれをベースに更に素晴らしきフェスティバルになると確信しています。

実行委員の皆様、お手伝いして頂いた皆様、本当にお疲れ様でした。



▲フェスティバル会場風景より「ゆめりあ」

新入会員の紹介

H27.12.1 ~ H28.11.30

- ・(萩野) 山科 健
- ・海藤 秀子
- ・田中 伸子
- ・伊藤 一郎
- ・(北辰一区) 渡部 健一
- ・庄司はる子
- ・(北辰二区) 亀井 昭子
- ・永瀬あき子
- ・佐藤 栄一
- ・(茶屋町) 津島トヨ子
- ・高野 和文
- ・五十嵐美千子
- ・津島敬太郎
- ・大竹 純子
- ・伊藤 孝
- ・(川西) 佐藤 和美
- ・高橋 育子
- ・柴田 伝
- ・(沖の町) 高橋 昌徳
- ・(宮内) 高橋 安幸
- ・山田 芳治
- ・田辺美智恵
- ・伊藤 恭子
- ・元木 賢光
- ・(大町) 二川原 優
- ・本間 光雄
- ・(末広) 石山 利勝
- ・二戸 智
- ・(金沢) 宇田 幸雄
- ・山科 力
- ・大場 邦夫
- ・下山 洋子
- ・新開 輝子
- ・伊東アヤ子
- ・藤澤たま子
- ・阿部ミヤ子
- ・柴田憲太郎
- ・(松本) 芳賀 芳文
- ・浅沼 隆紀
- ・柿崎 操子
- ・(金山) 小沼 睦子
- ・加藤 信一
- ・加藤さち子
- ・小沼 幸男
- ・黒沼 孝一
- ・笹原 教弘
- ・小野 義明
- ・伊藤 重好
- ・細谷 和子
- ・(最上) 阿部 弘
- ・松岡 富明
- ・大場 照夫
- ・曾根田哲也
- ・菅 美喜子
- ・佐々木 良
- ・(舟形) 須藤 義正
- ・沼沢 文二
- ・千葉セツ子
- ・小野 嘉彦
- ・(真室川) 佐藤 亮喜
- ・片山 二郎
- ・庄司 彰
- ・柴田 浜子
- ・黒坂 右門
- ・柴田 秀則
- ・佐藤 信夫
- ・舟生喜美男
- ・八鍬 俊哉
- ・小野 町子
- ・高橋 君芳
- ・高橋 正彦
- ・(大蔵) 加藤 富雄
- ・加藤美江子
- ・桜井よう子
- ・鈴木 雪蔵
- ・(鮭川) 五十嵐 誠
- ・阿部美知男
- ・阿部 邑子
- ・井上 悦子
- ・鈴木 英利
- ・(戸沢) 前田 正弘
- ・荒川 政宏
- ・齊藤 芳雄

※十一月三十日
時点の総会員数は、六三六名
(男性四〇八名、
女性二二八名、
平均年齢は七
〇・一歳)

ボランティア活動報告

清掃ボランティアに

参加して

最上町班 二戸 千代子

十月八日、未明からの雨の中で
の作業となり、中央公民館周りの
草刈りと花壇の草むしり、その片
付けを行いました。

作業はトラブルもなく、一時間
ほどで終了しましたが、大勢の人
の力ですごくすいすいすよね。人生経
験豊富な（もちろん仕事です）人
達の集まりですものね。

まだまだ現役、これからも仕事
もボランティアにも頑張っていき
たいと思っています。



▲最上町班 清掃ボランティア

手作りボランティア

に参加して

手作りの会

川西班 遠藤 之子

私たちが手作りの会は少人数では
ありますが、元気が取り得と自負
しているグループです。

今回で三回目のボランティア活
動をして、最上町の施設（紅梅
荘）を訪問することができました。

二十名の入居者の方が参加され、
少しでも笑顔と昔手にした事のあ
る縫物を思い出してもらえたら嬉
しいかなと、「ふくろう」作りを
してもらいま
した。慣れな
い手付きなが
らも、皆さん
喜んでくださ
って、懸命に作った自分の「ふく
ろう」を持ち笑顔々々でした。
「また来てな！」の言葉をかけ
ていただいて、温かいものを感じ
たひと時でした。



▲マスコット「ふくろう」

これからも、手作りの会はボラ
ンティア活動を続けられるよう努
力したいと思います。

お二人の会員よりメッセージをお預かり していますので、ご紹介します。

会員になって十年

沖の町班 佐藤 貴



私は過去に怪
我や病気を患い、
悩み続け、一身

上の都合により、五十七歳で早
期退職いたしました。まだ働く
意欲があるなか入院し、感情的
になって苛立ち、妻に当たりた
くなる様な状態でした。

ある日、前の職場の仲間から
「今、仕事辞めて何しったや、奥
さんと喧嘩ばかりだよ。俺は
シルバー人材センターに登録し
たよ。」と言われ、私は、早速登
録して頑張っていこうと思いま
した。

あれから十年が経ち、またも
やりウマチ性多発筋痛症という
難病にかかり、シヨックで気が
動転してしまいました。

せっかく仕事に就き、順調に
行っていたのに、私は何もかも
辞めてしまいたいと思いました。
しかし、仲間を紹介されたのに

申し訳なく思い、こんな情けな
い気持ちで終わりたいくないと思
いとどまりました。

これからは、自分なりに出来
る範囲で色々なことに積極的に
前向きに健康に留意しながら、
シルバー人材センターで活躍で
きるよう頑張っていきたいと思
います。

就業している全会員に… 働いている皆様に…

戸沢村班 荒川 勇

働いている皆様へ
君には君にしかできない
使命がある
僕にも僕にしかできない
使命がある
桜・梅・桃・李の特色を
遺憾なく発揮して
今日も元気で
お互いに
頑張っていこう
皆様の御健勝を祈る



事務局だより

配分金の確定申告

シルバー人材センターからの配分金は、所得税法上「雑所得」に区分されます。平成二十八年分「配分金明細書」を事務所に用意していただきますので、確定申告等に必要の方は事務所へお申し出下さい。



シルバー寄付金

シルバー事業に対してご寄付をいただきましたのでご報告いたします。

- (有)伊藤製材所 様
- 中村 充 様

あたたかい善意心よりお礼申し上げます。

雪下し講習会

一月中旬予定

年末年始休業のお知らせ

十二月二十九日(木)～一月三日(火)までお休みです。

冬季間の特別勤務体制

除雪・雪下しシーズンの到来を受け、会員打ち合わせや現場確認、お客様への対応のため、事務所勤務時間を交替勤務により次のように延長いたします。

いづの会「新年会」のご案内

日時／一月二十日(金) 午後三時～
会場／大地会館
会費／男性 四、〇〇〇円
女性 三、五〇〇円
※抽選会あり

申込期限／一月十六日(月)

募金について

赤い羽根共同募金を新庄市社会福祉協議会へ、シルバーフェスティバルの収益金を真室川町の社会福祉協議会へ、それぞれ寄付させていただきます。



▲井上薫真室川町長(社会福祉協議会長へ)

お悔やみ

高橋 栄(金山)
加藤 俊二(新庄)
植木 きくよ(真室川)
心からご冥福をお祈り申し上げます。

地域の話 地域のコナー

12月18日 決定

わが街の自慢

新庄祭りは二〇〇九年(平成二十一年)国の重要無形民俗文化財に指定され、この度「新庄まつり山車」が国連教育科学文化機関(ユネスコ)の無形文化遺産に登録されました。

これは、市民のみならず最上地域、ひいては山形県全体に大きな喜びと希望・誇りをもたらしました。

新庄まつりは、江戸時代中期の一七五五年宝暦五年大飢饉で、すっかり疲弊した領民の元氣と豊作を願い、新庄藩五代目藩主戸沢正謀公が翌年から始めたこととされ、今年で二六二年を迎えます。

毎年八月二十四～二十六日の三

日間、神輿渡御行列を先頭に各町内が歌舞伎や物語の名場面を再現し、絢爛豪華な二十台の山車が市街地を練り歩きます。

「日本一の山車行列」とも言われ又、他に類似が無いと言っても過言ではありません。

毎年一から作り上げ、企業から一切の協賛無しで、山車の引手は各町内の子若連が務め、独特のお囃子は周辺集落の若連で構成し、町内と農村の絆から成り立つ新庄市挙げてのまつりです。

今後、新庄まつりを継承していく為に幾つかの課題(少子化による引手の不足等)があるようですが、国際的な知名度や存在感を



末広班 黒坂 良子



▲除雪作業の安全を願って
H28年10月27日

平成28年度 下半期
活発な行事 アラカルト



▶役員研修
(伊達市SCにて)
H28年10月6~7日



▲シルバーフェスティバル開会式 (ゆめりあにて)
H28年10月12日



▲こぶしの会 親睦旅行 (米沢市・上杉神社にて)
H28年10月8日



▶活性化推進事業
雪囲い講習会
(新庄市民文化会館)
H28年11月18日



▲出前入会説明会 (戸沢村・蔵岡公民館にて)
H28年12月7日

編集後記
輝かしき新年を迎えるに先駆け「さわやか57号」をお届けいたします。
皆様より興味深く読んでいただける広報誌にと部員一同、担当職員と共に、創意・工夫しながら取り組んで参りました。是非、ご高覧ください。
尚、ご多忙中にもかかわらず、ご寄稿くださいました皆様に、心より御礼を申し上げます。
又、次号発行に際し、ご意見等をお寄せ頂けましたら幸いです。
(記 黒坂良子)

就業相談日 毎月第3木曜日
にお越し下さい! 午後1時~4時

『仕事がない』『仕事合わない』とお思いの方は、事務所にご相談ください。

求む! 除雪・雪下し会員

本格的な雪シーズンがやって来ます。除雪会員が不足しております。運動不足解消を兼ねて、除雪作業に参加してみませんか!!

※詳しくは、事務所にご相談ください。 ☎22-3065